



病院だより

第66号

新城市民病院総務課
新城市字北畑32-1
Tel 0536-23-7852
Fax 0536-22-2850

看護の日

5月12日は「看護の日」、6日から12日は「看護週間」でした。

この日にちなみ、市民病院では10日、11日の2日間、1階外来待合室にて、看護師による健康相談を行いました。

新城市民病院看護師ブログのゆるキャラ「なすえ」ちゃんがお迎えし、付添



いや面会の方、診察を終えた方の、日ごろの生活で感じる、健康に関する疑問、質問にお答えしたり、血圧や体脂肪の測定を行いました。
また、看護師を目指している方、保護者の方に



看護師資格取得のご案内や、再就職の相談会も同時に行いました。

現役看護師が夢の実現に向けて丁寧に相談に応じ、お母さんと一緒に来院された女の子は、将来看護師になることを約束してくれました。



看護師募集パンフレットと一緒に

ハイ！チーズ！

5月12日の由来

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に制定されました。



フローレンス・ナイチンゲール（中央）とナイチンゲール誓詞（右）

看護の日とは…

21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。



こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により、「看護の日」が1990年に制定されました。

公益社団法人日本看護協会HPより

※市民病院では、看護師を募集しています。
詳しくは、広報ほかの6月号をご覧ください。



第12回子育て応援広場

5月12日(土) 鳳来地区長篠にある「児童館たんぽぽ」において「第12回子育て応援広場」を実施しました。

さわやかな五月晴れの中、たくさんのご家族に参加していただくことができました。

当日は、お子さんを遊ばせている間に、広いスペースにゆったり座って、医師や看護師に子育てについて気軽に相談をしたり、同じ敷地内に開設されている助産所の見学をしていただきました。

また、紙芝居やポン菓子の実演など、楽しいイベントで会場は盛り上がりました。

この催しは毎年2回開催しており、小児科医師をはじめ、言語聴覚士、看護師、助産師、保育士などがお子さんの健康や育児に関する不安や悩みに、遊びなどを交えながら相談に乗るものです。

個別相談にもお応えし、相談時は、お子さんをお預かりすることもできますので、お気軽にご相談ください。

活動は春と秋の2回行っており、事前予約は必要ありません。申し込みも不要です。皆さん是非ご参加ください。



影山医師と個別相談



紙芝居に夢中



青空のもと看護師や言語聴覚士と相談



ポン菓子の音にびっくり!

N何を・Sすれば・T食べれるの?



4月18日(水) NST勉強会を開催しました。

NSTとは、「Nutrition Support Team」(栄養サポートチーム)の略で、今回の勉強会では、「N何を・Sすれば・T食べれるの?」をテーマに「NST」に関する基礎知識や、栄養不良が続くとどうなるのかなど、栄養管理の重要性を勉強しました。



最後に、食べることが不自由な方のための、飲み込みサポート食品の試食を行い、舌で簡単に潰せる沢庵など普段私たちの食卓で並んでいる食べ物が、飲み込みサポート食品として存在していることを経験しました。



この研修を、入院患者様の栄養管理の質の向上に生かしていきます。

